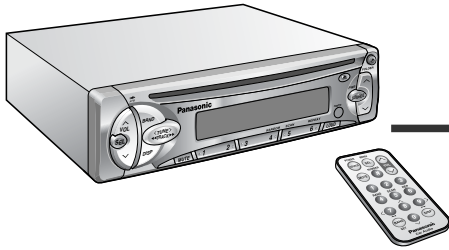


# Panasonic

MP3対応CDレシーバー

## 取扱説明書



品番

# CQ-DPX171D



# MP3

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO  
TEXT

### 保証書別添付

このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 特長

CDプレーヤー・FM/AMチューナー・CD/MDチェンジャーコントロール機能、高音質45W x 4chパワーアンプを搭載

CD-R/RWディスク対応

「CD-R/RWディスクのご使用について」(P.26ページ)をよくお読みください。

MP3対応

本機でMP3ファイルを再生できるメディアは、CD (音楽用のCD-ROM、CD-R、CD-RWディスク) です。「MP3ファイル作成時の留意点」(P.21ページ)をよくお読みください。

タイトル表示機能/タイトルスクロール機能

MP3フォルダ名/ファイル名、CDテキスト (ディスク/トラックタイトル) を最大で62文字までスクロール表示できます。

CD/MDチェンジャーは、タイトルを表示できません。

付属リモコンによる、ダイレクト選択機能

10キーで番号を入力し、曲 (CD) ・フォルダ (MP3) ・ディスク (チェンジャー) を選ぶことができます。

取りはずしのできる、デタッチャブルフェイスを採用 (P.25ページ)

車から離れるときにパネルを取りはずせるので、ユニットの盗難を防ぐことができます。

システムアップ用端子を装備

CD/MDチェンジャーコントロール機能 (P.22、36ページ)

外部音声入力コード (AUX-IN) 付き (P.35、37ページ)

テレビのステレオ音声等をオーディオで聞くことができます。

外部アンプと接続できるプリアウト端子付き (P.35～36ページ)

## お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2001年10月現在)

CDチェンジャー：CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205

MDチェンジャー：CX-MD6D

# もくじ

## ご使用前に

特長	2
安全にお使いいただくために	4
使用上のお願い	8
付属品・添付品の確認と準備	9
各部のなまえとはたらき	10

## 使う

<b>電源を入れる・基本操作</b>	<b>12</b>	
電源を入れる/切る	音源 (ソース) を選ぶ	音量を調整する (ボリューム)
一時的に消音する (ミュート)	小音量のときに低・高音を強調する (ラウドネス)	
時計を調整する	表示を切り替える	
<b>ラジオを聞く</b>	<b>14</b>	
<b>CDを聞く</b>	<b>16</b>	
<b>MP3を聞く</b>	<b>18</b>	
<b>チェンジャーでCD/MDを聞く</b>	<b>22</b>	

## 使いこなす

音質 (サウンド) を調整する	24
パネルの脱着のしかた	25

## 必要なときに

ディスクの取り扱いについて	26
お手入れのしかた	27
故障かな!?	28
配線・取り付けの前に	32
取り付けかた	33
配線のしかた	34
仕様	38
アフターサービスについて	39

# 安全にお使いいただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

運転者は走行中に操作をしない  
また、画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。  
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

取り付け・アース配線等に、保安部品を絶対に使わない



禁止

保安部品（ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど）のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。  
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC 12 V $\ominus$ アース車で使用する



本機はDC 12 V $\ominus$ アース車専用です。DC 24 V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、  
バッテリーの $\ominus$ 端子を必ずはずす



バッテリーの $\ominus$ 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

## 警告

### 故障や異常のまま使用しない



禁止

万一、故障（画像が映らない・音が出ないなど）や異常（異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど）が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

### 必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）にご依頼ください。

### コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないよう引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

### 指定に従って設置・配線する



説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

### 分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

### 電池は乳幼児の手の届かないところに保管する



事故の原因になります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

### エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない



禁止

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

### リモコンを放置しない



禁止

運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

### MP3ファイル以外のファイルに、拡張子「.MP3」を絶対に付けない



禁止

MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

## 注意

配線・取り付けは、専門技術者に  
依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験  
が必要です。  
安全のため、必ずお買い上げの販売  
店にご依頼ください。

水のかかる場所、湿気や埃の多い  
場所で使用しない



禁止

発煙・発火・感電・故障の原因に  
なることがあります。  
特に洗車や雨のときなどに、水が  
かからないようにしてください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、  
機器の内部を損傷したり、しっ  
かり固定できずにはずれるな  
ど、事故や故障、火災の原因に  
なることがあります。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態  
での運転は、事故の原因になること  
があります。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の  
原因になることがあります。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものな  
どが入ると、ショートや絶縁不良で  
発熱し、火災や感電、故障の原因に  
なります。  
特に乳幼児にご注意ください。

ディスク挿入口に手・指を入れない



禁止

手や指を挟まれるなど、けがの原因  
になることがあります。  
特に乳幼児にご注意ください。

特殊形状のCDやCDアクセサリ  
は使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状の  
CDや、プロテクトフィルム・スタ  
ビライザーなどのCDアクセサリ  
を使用すると、故障の原因になりま  
す。

シール・ラベル・テープなどを貼り  
付けたCDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の  
原因になることがあります。  
特に市販のプリンターで作成したラ  
ベルなどを貼り付けたCD-R/RW  
は、使用しないでください。

## ⚠ 注意

### コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。

車体やねじ・可動部(シートレールなど)への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

### 電池は正しく扱う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

指定の電池以外は使用しない。

⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。

使いきった電池は、すぐに交換する。

リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。

充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。

電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ビニール袋に入れる、テープなどを巻く)

著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。

(窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど)

### 電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

# 使用上のお願い

## 他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してご使用ください。

## 本機の取り扱いについて

### 車載用以外には使用しないでください

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

## 免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該商品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用する場合、適用対象になりません。



# 付属品・添付品の確認と準備

## 付属品

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、32ページをご覧ください。



リモコン



パナソニック  
リチウム電池  
(CR2025) (1個)

## 添付品

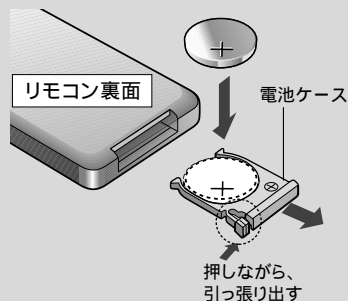
取扱説明書

保証書

お客様ご相談窓口一覧表

## リモコンに電池を入れる

- 1 電池ケースを出して、電池をのせる  
⊕⊖の向きを、電池ケースの表示に合わせてください。



- 2 電池ケースを入れる  
奥まで挿し込んでください。

## 電池について

使用電池

パナソニック リチウム電池 (CR2025)

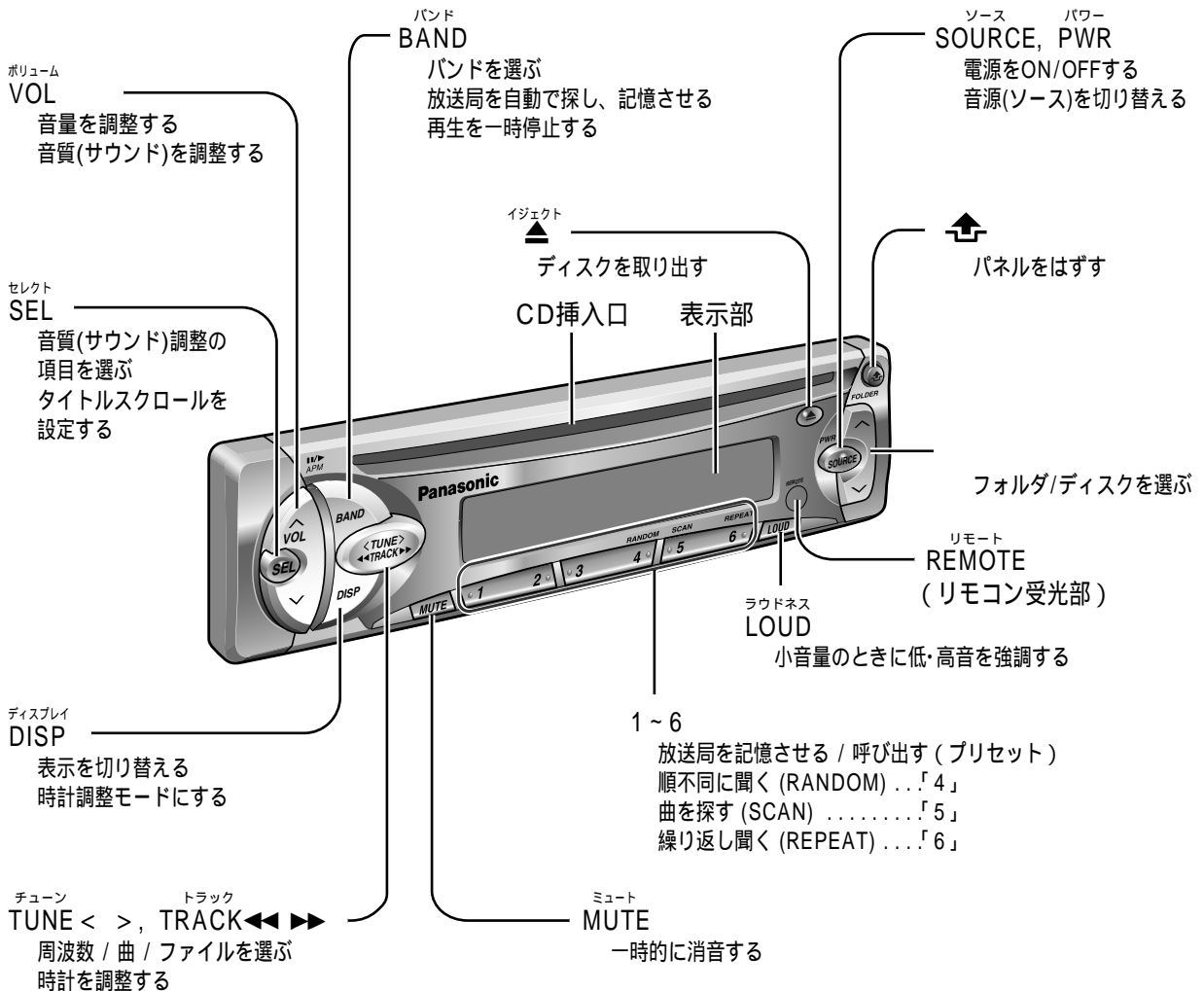
電池寿命

通常の使用状態 (常温時) で約6ヶ月

取り扱いの注意書き(7ページ)をよくお読みください。

# 各部のなまえとはたらき

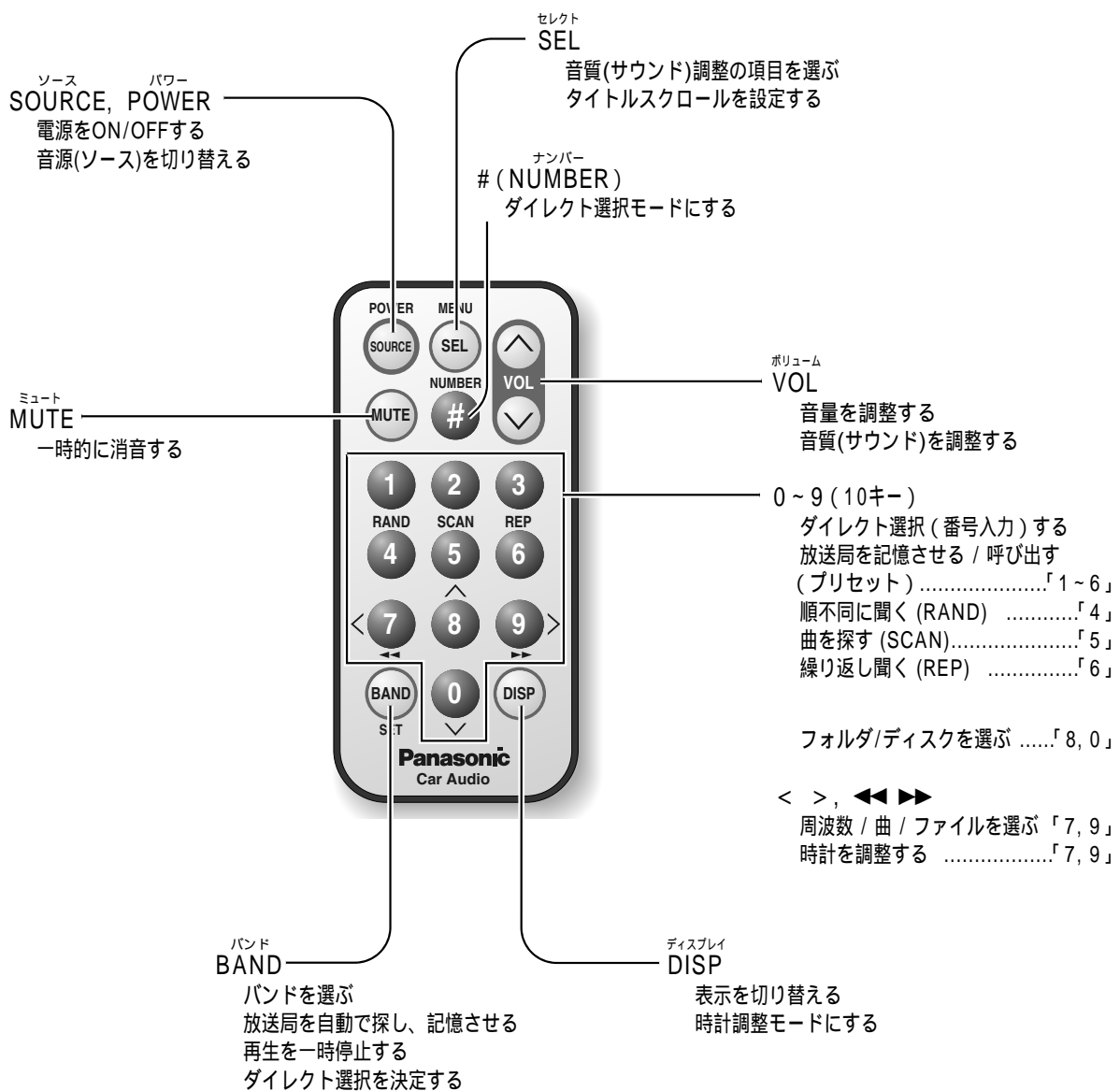
## 本体



後面の端子については、  
「配線のしかた」をご覧ください  
( 35ページ )

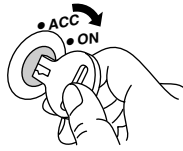
# リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。



# 電源を入れる・基本操作

**準備** 車のエンジンをかける  
(「ACC」の位置でも可)



## 電源を入れる/切る



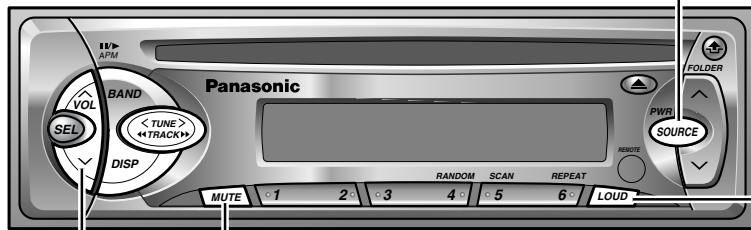
ON(入) : 押す  
OFF(切) : 1秒以上押す

はじめてご使用になるときは  
デモンストレーションが表示されます。  
解除してから使用してください。

を押して、表示を切り替える

### お知らせ

電源を入れたときに音量レベルが20以上になっている場合は、  
徐々に音量が上がります。(スムーズアップボリューム)



音量を調整する  
(ボリューム)

一時的に消音する  
(ミュート)



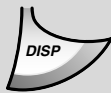
を押す

**VOL 20**  
初期設定 : 20  
調整範囲 : 0 ~ 40

を押す  
(解除 : 再度押す)

**MUTE**  
点滅

## 表示を切り替える



を押す

### お知らせ

CDは、CDテキスト(ディスクに記録されているタイトル情報)を表示させることができます。  
右のマークがついたディスクなど



例) 音楽CDの場合

曲番号・再生経過時間表示(通常表示)

**01 1'23**

↓  
ディスクタイトル表示

**D-TITLE**

↓  
トラックタイトル表示

**T-TITLE**

↓  
時計表示(未調整の場合は「ADJUST」)

**CD 8:15**

例) MP3の場合

フォルダ番号・ファイル番号表示(通常表示)

**001-003**

↓  
再生経過時間表示

**2'34**

↓  
フォルダ名表示

**FOLDER**

↓  
ファイル名表示

**FILE**

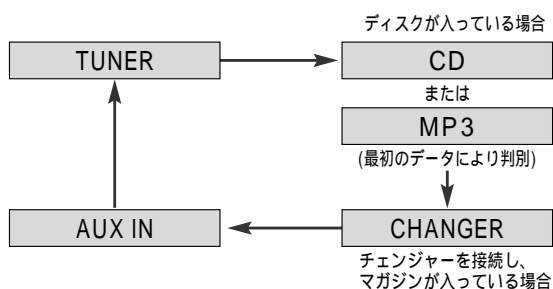
↓  
時計表示(未調整の場合は「ADJUST」)

**MP3 8:15**

ラジオの通常表示は、「バンド・周波数・プリセット番号」です。  
チェンジャーの通常表示は、「曲番号・再生経過時間・ディスク番号」です。  
CD/MDチェンジャーは、タイトルを表示できません。

## 音源(ソース)を選ぶ

**SOURCE** を押して、切り替える

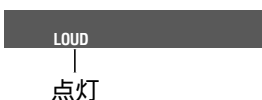


### お知らせ

テレビなどの外部機器を使用する場合は、外部音声入力コード(AUX-IN)に接続してください。(P.37ページ)

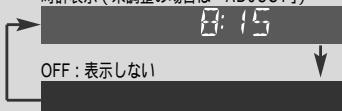
## 小音量のときに 低・高音を強調する(ラウドネス)

本体の **LOUD** を押す  
(解除:再度押す)



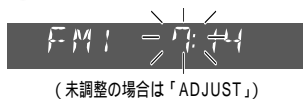
電源が切れている場合にも、  
時計を表示させることができます。

時計表示(未調整の場合は「ADJUST」)



## 時計を調整する

- 1 **DISP** を2秒以上押して、  
時計調整モードにする



- 2 **<TUNE>**  
**<<TRACK>** を押して、  
時間を調整する



- 3 **DISP** を押して、  
分を選び、



- 4 **<TUNE>**  
**<<TRACK>** を押して、  
調整する



- 5 **DISP** を押して、  
時刻を決定する

通常モードに戻り、時計が  
動き始めます。



### お知らせ

時計は24時間表示です。  
電源が切れているときは、調整できません。  
タイトルを表示しているときは、調整できません。

# ラジオを聞く

1 **SOURCE** を押して、**TUNER (ラジオ) モードにする**

2 **BAND** を押して、**バンドを選び**

3 **<TUNE>**  
**<<TRACK>>** を押して、**放送局を選ぶ**

自動選局(シーク)するには  
0.5秒以上押し続ける  
はなした時点から選局を始め、受信すると止まります。

周波数  
バンド  
プリセット番号



FMステレオ放送を受信したとき  
(AMステレオには対応していません)

## 放送局を記憶させるには

各バンド（FM1、FM2、AM1、AM2）ごとに、放送局を最大6局まで記憶させることができます。

一つずつ  
記憶させる  
(プリセットメモリ)

バンドと周波数を選び (☞左ページ)

 ~  を2秒以上押す  
(プリセットボタン)

表示が1回点滅し、受信している放送局が記憶されます。

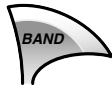


1回点滅

受信状態の  
よい順に  
記憶させる  
(オートプリセットメモリ)

バンドを選び (☞左ページ)

APM





を2秒以上押す

受信状態の良い放送局が、プリセット番号1から順に記憶されます。

終了すると...

記憶された放送局が約5秒ずつスキャンされます。

 ~  を押して、放送局を選んでください。  
(プリセットボタン)





点滅

### お知らせ

記憶された放送局は、プリセットの操作をするたびに更新されます。

放送局を  
呼び出す  
(プリセット呼び出し)

バンドを選び (☞左ページ)

 ~  を押す  
(プリセットボタン)

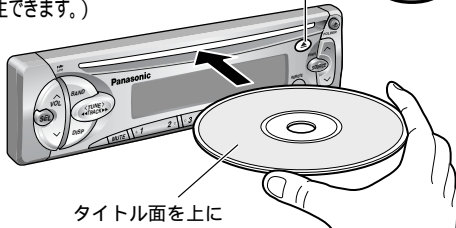
# CDを聞く

ディスクの最初にあるデータがCD-DAであれば音楽CD、MP3ファイルであればMP3として認識します。CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合は、どちらか一方だけが再生されます。

## CDを入れる/取り出す

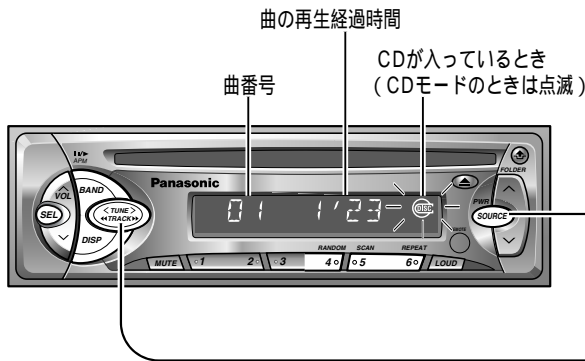
ディスクが入っていないことを確かめてから、入れてください。

シングルアダプターは使用しないでください。  
(8cm CD はアダプターなしで再生できます。)



取り出すには  
▲ を押す

ディスクのデータを識別し、再生が始まります。  
(識別に時間がかかる場合があります。)



## CDが入っているときは...

- 1 SOURCE を押して、CDモードにする
- 2 <TUNE> / <<TRACK>> を押して、曲を選ぶ

## 早送り/早戻しするには

0.5秒以上押し続ける

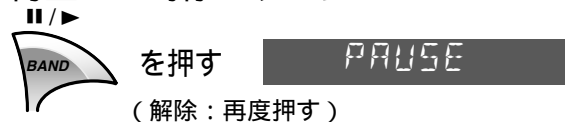
押し続けている間、早送り/早戻しされます。

「ディスクの取り扱いについて」(P.26ページ)をよくお読みください。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない  
シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCD (特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RW) は使用しない

使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

## 再生を一時停止するには



## お知らせ

電源が切れているときにCDを入れると、電源が入り、再生が始まります。

CDモード中にCDを取り出すと、電源が切れます。



## いろいろな聞きかた

順不同に聞く  
(ランダム)

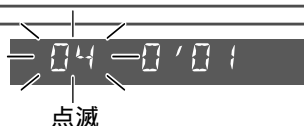
**RANDOM**  
4 を押す  
(解除：再度押す)



曲を探す  
(スキャン)

約10秒ずつ再生する

**SCAN**  
5 を押す  
(解除：再度押す)



1周すると解除され、もとの曲の始めに戻ります。

繰り返し聞く  
(リピート)

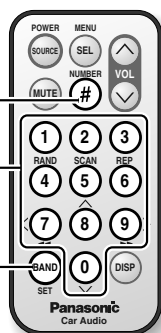
**REPEAT**  
6 を押す  
(解除：再度押す)



番号の入力で曲を選ぶ  
(ダイレクト選択)

リモコンで操作してください。本体では操作できません。

- 1 **#** を押す
- 2 10キーで曲番号を入力する  
例) 曲番号12：1 2 を押す
- 3 **BAND** を押して決定する  
選んだ曲の再生が始まります。



### お知らせ

番号を入力しなおすには

再度 **#** を押す

10秒以上何も操作をしないと...  
通常モードに戻ります。

途中でやめる(通常モードに戻す)には

**DISP** を押す

タイトル情報を表示させるには

**DISP** を押して、表示を切り替える  
(12ページ)

例) ディスクタイトル表示

3-TITLE

「NO TITLE」と表示されたときは...  
タイトル情報が記録されていません。

タイトル表示について

英・数字のみ8文字まで(スクロール時は最大で  
半角62文字/全角31文字まで)表示できます。

小文字は大文字で表示されます。  
表示できない文字は「\*」で表示されます。



CDは、CDテキスト(ディスクに記録されている  
タイトル情報)を表示させることができます。

左のマークがついたディスクなど

タイトルをスクロールさせるには

1 **SEL** を2秒以上押す 7 SCROLL

2 **<TUNE>** / **<<TRACK>** を押して、切り替える

SCRL ON

スクロールする

SCRL OFF

スクロールしない  
(1周したあと、静止する)

### お知らせ

10秒以上何も操作をしないと...

通常モードに戻ります。

途中でやめる(通常モードに戻す)には

**DISP** を押す

スクロールOFFのときに再度スクロールさせるには

**DISP** を2秒以上押す

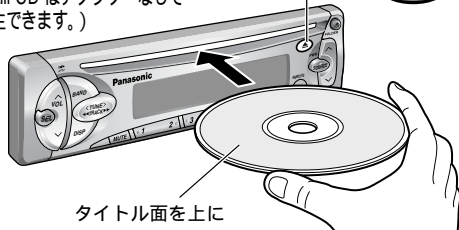
# MP3を聞く

ディスクの最初にあるデータがCD-DAであれば音楽CD、MP3ファイルであればMP3として認識します。CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合は、どちらか一方だけが再生されます。

## CDを入れる/取り出す

ディスクが入っていないことを確かめてから、入れてください。

シングルアダプターは使用しないでください。  
(8cm CD はアダプターなしで再生できます。)



タイトル面を上

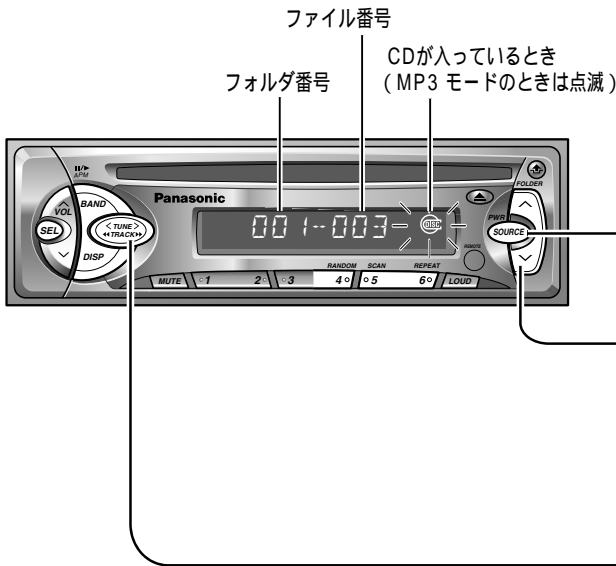
取り出すには

を押す

ディスクのデータを識別し、再生が始まります。  
(識別に時間がかかる場合があります。)



全てのファイルをチェックするため、フォルダ数・ファイル数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。



## CDが入っているときは...

**1** を押して、MP3モードにする

**2** を押して、フォルダを選び

選択したフォルダにファイルがない場合は、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。

**3** を押して、ファイル(曲)を選ぶ

早送り/早戻しするには

0.5秒以上押し続ける

押し続けている間、早送り/早戻しされます。  
(再生経過時間の表示が実際とずれる場合がありますが、他のファイルを再生すると、正常に戻ります。)

「ディスクの取り扱いについて」(P.26ページ)をよくお読みください。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない  
シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCD (特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RW) は使用しない

再生中に車のイグニッションスイッチを「OFF」にした場合、再生経過時間の表示が実際とずれる場合があります。また、可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、曲の頭に戻る場合があります。

## 再生を一時停止するには

を押す   
(解除：再度押す)

### お知らせ

電源が切れているときにCDを入れると、電源が入り、再生が始まります。

MP3モード中にCDを取り出すと、電源が切れます。



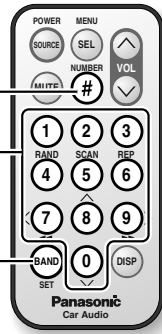
# MP3を聞く

## いろいろな聞きかた(つづき)

### 番号の入力でフォルダを選ぶ (ダイレクト選択)

リモコンで操作してください。本体では操作できません。

- 1 **#** を押す
- 2 10キーでフォルダ番号を入力する  
例) フォルダ番号12: **1** **2** を押す
- 3 **BAND** を押して決定する  
SET  
選んだフォルダの、最初の  
ファイル(1曲目)から再生  
が始まります。



#### お知らせ

番号を入力しなおすには  
再度 **#** を押す

10秒以上何も操作をしないと...  
通常モードに戻ります。

途中でやめる(通常モードに戻す)には  
**DISP** を押す

選択したフォルダにMP3ファイルが  
ない場合は、「E4」と表示されます。  
MP3 ファイルがあるフォルダを  
選んでください。

### フォルダ名 / ファイル名を 表示させるには

**DISP** を押して、表示を切り替える  
( 12ページ)

例) フォルダ名表示

FOLDER

### フォルダ名/ファイル名の表示について

英・数字のみ8文字まで表示できます。

(スクロール時は最大31文字まで)

拡張子の「.MP3」は表示されません。

1階層目の(ルートフォルダの中にある)  
ファイルを再生しているときは、フォルダ名  
表示のときに「ROOT」と表示されます。

小文字は大文字で表示されます。

表示できない文字は「\*」で表示されます。

### フォルダ名 / ファイル名を スクロールさせるには

1 **SEL** を2秒以上押す **T SCROLL**

2 **<TUNE>**  
**<<TRACK>** を押して、切り替える

**SCRL ON** ↔ **SCRL OFF**

スクロールする

スクロールしない  
(1周したあと、静止する)

#### お知らせ

10秒以上何も操作をしないと...  
通常モードに戻ります。

途中でやめる(通常モードに戻す)には

**DISP** を押す

スクロールOFFのときに再度スクロールさせるには

**DISP** を2秒以上押す

## MP3ファイル作成時の留意点

### MP3(エムピースリー)とは

MPEG Audio Layer-3の略称。MPEGはビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。MP3は、MPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで、人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより、音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。

約10分の1に圧縮できるので、音楽CD約10枚分の音楽データをCD-R/RW1枚に書き込めます。(ビットレート128 kbps、サンプリング周波数 44.1 kHzで、容量 650 MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその数値)

### 音楽データをMP3ファイルにエンコード(変換)するときは

ビットレートは“128 kbps以上”の“固定”に設定してください。推奨

“MPEG-2のビットレート8 kbps”、“MPEG-2のサンプリング周波数16 kHz”で記録されたファイルは、再生できません。

可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。

再生時の音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートなどの設定によって異なります。

詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。

### ディスクにMP3ファイルを書き込むときは

MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどを書き込まないようにしてください。

多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

ISO 9660 フォーマットで書き込んでください。(☞下記参照)

APPLE HFS フォーマットには対応しておりません。

規格に準拠していない場合には、正常に再生されなかったり、フォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。

MP3ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。

MP3以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合は、ファイルを再生できません。

“Disc at Once (ディスクアットワンス)”で書き込むことをお奨めします。(マルチセッションにも対応しています。)

データを書き込んだディスクは、必ずクローズセッションしてください。

パケットライトソフトには対応しておりません。

プレイリスト機能には対応しておりません。ファイル名の頭に“01”～“99”などと入力することで、順番を設定できるライティングソフトもあります。

ID3Tag (アイディースリータグ) 機能には対応しておりません。各種情報などが記録されていても表示できません。

使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、正しく表示されない場合があります。

### ファイル名対応表

ISO 9660 フォーマット	本機が表示できるフォルダ名 / ファイル名
ISO 9660 レベル1	フォルダ名、ファイル名には英・数字をお使いください。推奨 詳しくはライティングソフトの説明書をお読みのうえ、ファイルシステムそれぞれの規格に従って作成してください。 最大31文字まで表示できますが、ファイルシステムによって文字数に制限があります。 小文字は大文字で表示されます。 英・数字のみ表示できます。正しく表示できない文字は「*」で表示されます。
ISO 9660 レベル2	
Joliet *	
Romeo	
ISO 9660 アップル拡張	*「Joliet」は、最大15文字まで表示できます。

### ファイル/フォルダ数の制限

フォルダの階層数 : 最大8階層

最大ファイル/フォルダ数 : 254 (ファイル数+フォルダ数、ルートフォルダを含まず)

ファイルとフォルダの合計数が254を超えた場合は、正常に再生できません。

### お知らせ

再生できないファイルは「E4」と表示されます。

MP3エンコーダソフト、およびライティングソフトは付属されておりません。

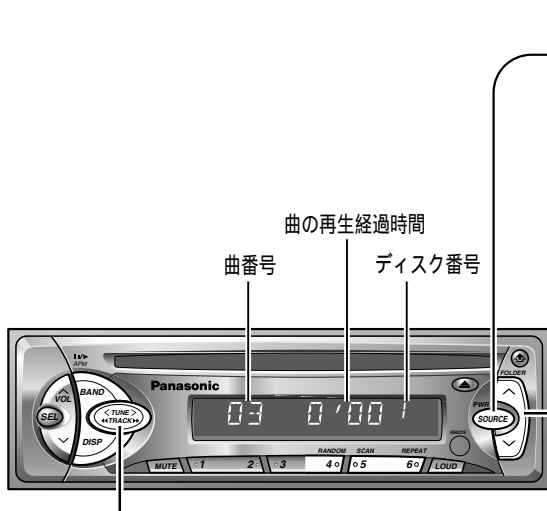
### 著作権について


音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

# チェンジャーでCD/MDを聞く


## 準備


CDチェンジャーやMDチェンジャーを接続し、マガジン(ディスク)を入れてください。(☎36ページ)



**1**  を押して、**CHANGER(チェンジャー)モード**にする

「CDC 0000」「MDC 0000」と表示されたときは...  
ディスクを入れてください。

**2**  を押して、**ディスクを選び**

**3**  を押して、**曲を選ぶ**

早送り/早戻しするには  
0.5秒以上押し続ける  
押ししている間、早送り/早戻しされます。

CD/MDチェンジャーは、タイトルを表示できません。

再生を一時停止するには



を押す













**PAUSE**

(解除：再度押す)

## お知らせ

電源が切れているときにマガジン(ディスク)を入れると、電源が入り、再生が始まります。  
チェンジャーモード中にマガジン(ディスク)を取り出すと、電源が切れます。

## いろいろな聞きかた

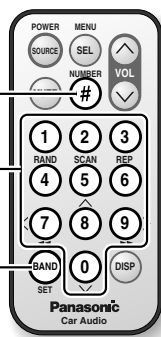
<b>順不同に 聞く (ランダム)</b>	全ての曲	 を押す (解除: 再度押す)	 点灯
	再生中の ディスク	 を2秒以上押す (解除: 再度2秒以上押す)	 点滅
<b>曲を探す (スキャン) 約10秒ずつ 再生する</b>	全ての曲	 を押す (解除: 再度押す)	 点滅 1周すると解除され、もとの曲の始めに戻ります。
	ディスクの 1曲目	 を2秒以上押す (解除: 再度2秒以上押す)	 点滅 1周すると解除され、もとのディスクの始めに戻ります。
<b>繰り返し 聞く (リピート)</b>	再生中の 曲	 を押す (解除: 再度押す)	 点灯
	再生中の ディスク	 を2秒以上押す (解除: 再度2秒以上押す)	 点滅

使  
い  
か  
た

### 番号の入力でディスクを選ぶ (ダイレクト選択)

リモコンで操作してください。本体では操作できません。

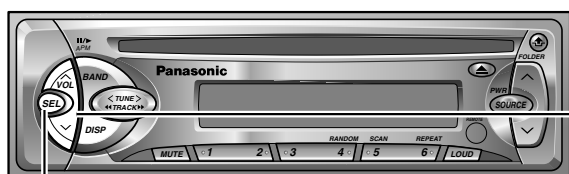
- NUMBER #** を押す
- 10キー**でディスク番号を入力する  
 例) ディスク番号7: **7** を押す
- BAND SET** を押して決定する  
 選んだディスクの1曲目から再生が始まります。



#### お知らせ

番号を入力しなおすには  
再度 **NUMBER #** を押す  
10秒以上何も操作をしないと...  
通常モードに戻ります。  
途中でやめる(通常モードに戻す)には  
**DISP** を押す

# 音質(サウンド)を調整する

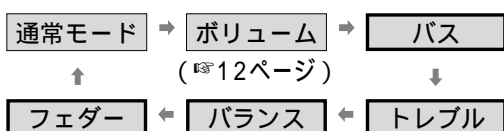


## お知らせ

各項目が表示されている約5秒間  
(ボリュームは約2秒間)に何も  
操作をしないと...  
通常モードに戻ります。

1 SEL を押して項目を選び、

2 VOL を押して調整する



設定を続けるときは...

再度 SEL を押す

低音域のレベルを調整する  
(バス)

BAS+ 9dB

「+」：強調される  
「-」：低減される

初期設定：0 dB  
調整範囲：-12 dB ~ +12 dB (3 dBずつ)

高音域のレベルを調整する  
(トレブル)

TRE- 3dB

「+」：強調される  
「-」：低減される

初期設定：0 dB  
調整範囲：-12 dB ~ +12 dB (3 dBずつ)

左右の音量レベルを調整する  
(バランス)

BAL R 15

L (LEFT)：左側が強調される  
R (RIGHT)：右側が強調される

初期設定：CNT (センター：0)  
調整範囲：L/R 各1~15 (1ステップずつ)

前後の音量レベルを調整する  
(フェダー)

FAD F 15

F (FRONT)：前方が強調される  
R (REAR)：後方が強調される

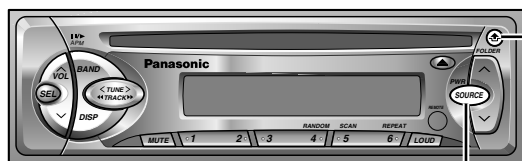
プリアウト端子に接続した外部アンプの音量レベルは、  
フェダー (REAR) に連動します。  
初期設定：CNT (センター：0)  
調整範囲：F/R 各1~15 (1ステップずつ)



# パネルの脱着のしかた

車から離れるときにパネルを取りはずせるので、ユニットの盗難を防ぐことができます。 デタッチャブルフェイス

## 取りはずしかた



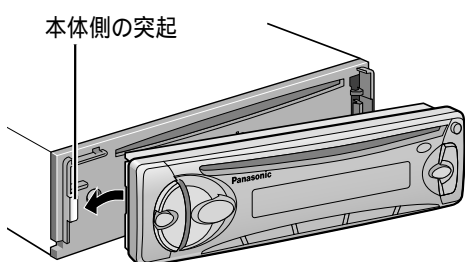
### 1 電源を切る

PWR  
SOURCE を1秒以上押す

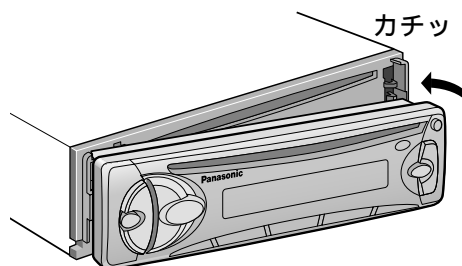
### 2 パネルをはずす

本体の  を押す

## 取り付けかた



### 1 パネルの左端を 本体に差し込み、



### 2 パネルの右端を 本体にはめる

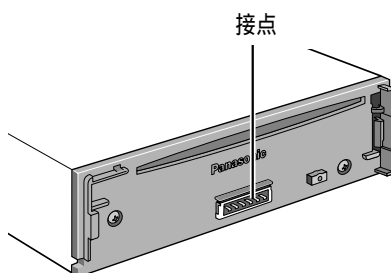
## お願い

パネルは防水されていません。故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。

気温が上がるダッシュボードやその周辺に、パネルを置かないでください。

本体とパネルの接点には触らないでください。電気的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

取りはずしたパネルは、破損しないようにお取り扱いください。(衝撃を与える、落とすなどしないでください。)



# ディスクの取り扱いについて

## CD (コンパクトディスク)



のマークがついているものを、ご使用ください。

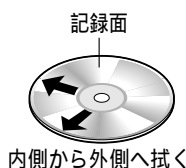
### 持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



### CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



内側から外側へ拭く

## ⚠ 注意

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状のCDや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると、故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に、市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

### お知らせ

データを読み取って再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。  
(読み取り中は「READING」と表示されます。)

### 取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

記録面に手を触れない

CDが回転する方向に拭かない

ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない

CDを曲げない、キズを付けない

鉛筆やボールペンなどで字を書かない

### CD-R/RWディスクのご使用について

再生可能なCD-R/RWディスクは、通常の音楽CDの形式(CD-DA)、またはMP3で記録したディスクに限ります。

CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。

CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。

CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。

クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

ビデオCDなど(CD-DA, MP3以外のデータ)は、再生できません。

## ディスクの保管について

### 長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。

ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

### 次のような場所に置かないでください

長時間直射日光のあたるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)

暖房器具の熱が直接あたるところ

湿気やゴミ・ほこりの多いところ

腐食性のあるところ

強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

# お手入れのしかた

## 本機が汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。

ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

# 故障かな!?

症状	原因・処置	ページ
<b>電源・共通</b>		
電源が入らない	車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可) 各コードの接続をお確かめください。 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」 (別紙)にヒューズの交換を依頼してください。	12 34~37 -
音が出ない	音量を上げてください。 ミュートが「ON」になっている。「OFF」にしてください。 結露している。しばらく放置してからご使用ください。 各コードの接続をお確かめください。	12 12 31 34~37
雑音が出る	アンテナが十分に伸びているか、お確かめください。 携帯電話などを本機から離してください。	- 8
音は出ているが、デモステレーションが表示される。	 を押してデモステレーションを解除してください。	12
<b>リモコン</b>		
ボタンを押しても動作しない	⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れてください。 電池が消耗している。交換してください。 リモコン受光部に向けて操作してください。	9 9 10
<b>ラジオ</b>		
FMステレオ放送、モノラル放送とも、ノイズが多い	ラジオアンテナが十分に伸びているか、お確かめください。 放送局の電波が弱い。放送局を変えてください。	- 14
<b>CD</b>		
ディスクを入れても音が出ない(再生できない)	ディスクを正しい面に入れなおしてください。 音楽用の(録音されている)ディスクをご使用ください。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく再生されない場合があります。	16 26 16
音質が悪い(音がとぶ)	ディスクの汚れをクリーニングしてください。 振動により音がとぶ。 角度を30°以内に調整し、しっかり取り付けてください。	26 32
CDテキストが正しく表示されない	ディスクの汚れをクリーニングしてください。	26
再生時間は表示されているが、音が出ない	ミックスモードのディスクの第1トラックを再生した。 (ミックスモードとは、第1トラックに音楽以外のデータ、 第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマットです。) 第2トラック以降の音楽データを再生してください。	-

## 症 状

## 原 因 ・ 処 置

## ページ

### MP3

<p>ディスクを入れても音が出ない(再生できない)</p>	<p>ファイル名は、ISO 9660 フォーマットの規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく再生されない場合があります。 MP3ファイルには、必ず拡張子「.MP3」を付けてください。 ディスクを正しい面に入れなおしてください。</p>	<p>21 21 21 18</p>
<p>音質が悪い(音がとぶ)</p>	<p>ディスクの汚れをクリーニングしてください。 振動により音がとぶ。 角度を30°以内に調整し、しっかり取り付けてください。 音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくはエンコーダソフトの説明書をご覧ください。</p>	<p>26 32 21</p>
<p>フォルダ名/ファイル名が正しく表示されない</p>	<p>ファイル名は、ISO 9660 フォーマットの規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく表示されない場合があります。</p>	<p>21</p>
<p>再生経過時間の表示が実際と一致していない</p>	<p>再生中に早送り/早戻しをした、または車のイグニッションスイッチを「OFF」にした。 他のファイルを再生すると、正常に戻ります。 可変ビットレート(VBR)で記録されたMP3ファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。</p>	<p>18 21</p>
<p>再生するまで時間がかかる</p>	<p>ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ファイルのチェックに時間がかかる場合があるので、MP3以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。</p>	<p>21</p>
<p>順番どおりに再生されない</p>	<p>再生させたい順番どおりに、書き込まれていない。 ファイル名の頭に“01”～“99”などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。</p>	<p>21</p>
<h3>音質・ユーザー設定</h3>		
<p>前後左右いずれかの音が出ない</p>	<p>前後左右の音量レベルを調整してください。 各コードの接続をお確かめください。</p>	<p>24 34~37</p>
<p>外部アンプからの音が出ない</p>	<p>フェダー(REAR)の音量レベルを調整してください。</p>	<p>24</p>
<p>ステレオのとき、左右の音が逆になる</p>	<p>スピーカーコードの接続をお確かめください。</p>	<p>34~35</p>

# 故障かな!?

こんな表示が出たときは

## 表示

CD / MP3

CD --E1--

CD --E2--

CD --E3--

CD --E4--

## 原因・処置

E1 / E2エラーのとき

自動的にディスクが出てきて電源が切れます。

ディスクが汚れている、裏返しになっている。

ディスクが音楽用でない、録音されていない。

ディスクにキズがついている。

ディスクを確かめ、再度入れなおしてください。

E3エラーのとき

何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。

正常に戻らない場合は

お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙) に修理をご依頼ください。

選択したフォルダにMP3ファイルがない。(ダイレクト選択時)

MP3ファイルがあるフォルダを選んでください。

再生しようとしたデータが、何らかの原因で読み込めない。

(本機が対応していないフォーマット、圧縮方式、データ形式、拡張子などで記録されている、データが破損しているなど)

読み取れるファイルを選んで、再生してください。

データを確認し、ファイルを作り直してください。

CD / MDチェンジャー

CD C 1E1

ディスク番号

MD C 1E1

CD C 1E2

ディスク番号

MD C 1E2

CD --E3--

MD --E3--

CD 0000

MD 0000

E1 / E2エラーのとき

自動的に次のディスクへ切り替わります。

ディスクが汚れている、裏返しになっている。

ディスクが音楽用でない、録音されていない。

ディスクにキズがついている。

ディスクを取り出して確かめ、再度入れなおしてください。

E3エラーのとき

何らかの動作エラー (メカエラー) が起きた。

チェンジャーのイジェクトボタンを押しても正常に戻らない場合は

チェンジャーのリセットスイッチを押してください。お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙) に修理をご依頼ください。

チェンジャー (マガジン) にディスクが入っていない。

ディスクを入れてください。

## こんなときは故障ではありません

### 結露について

雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部(CDプレーヤー)の光学系のレンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置し、自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は、柔らかい布で拭いてください。

### 万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。

煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。

お客様による修理は、絶対におやめください。

# 配線・取り付けの前に

## ⚠ 警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

## ⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

## 配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

### 配線関係

品名	個数
電源コード	1

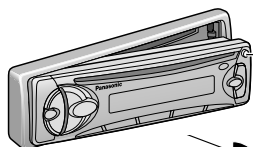
### 取り付け関係

品名	個数
特殊座付きねじ ( 5 × 8 mm )	4
特殊皿ねじ ( 5 × 8 mm )	4
スペーサー	2
両面テープ	2

## 配線・取り付け作業前の準備

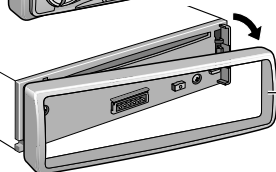
輸送用の保護枠は使用しません。本体から取りはずしてください。

①



⊕を押して、パネルをはずす

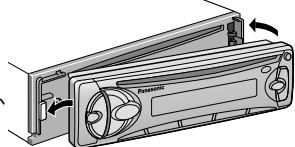
②



保護枠をはずす

カチッ

パネルの取り付けかた  
左端を本体側の突起へ差し込み、  
右端をはめる

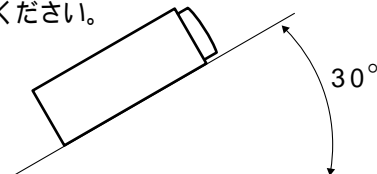


## 取り付け部の寸法・角度の確認

車種 ( ダッシュボードの形状や寸法 ) によって、取り付けられない場合やシフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。

オーディオスペースがDINサイズ ( 横180 mm、縦50 mm )、または2DINサイズ ( 横180 mm、縦100 mm ) でない場合には、販売店にご相談ください。

水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



## 作業の順序

- ① バッテリーの⊖端子をはずす
- ② 配線する ( 34 ~ 37 ページ )  
他の機器と接続する場合には、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
- ③ 取り付ける ( 33 ページ )  
付属電源コードのコネクターを本機の後面に接続し、車両に取り付けてください。
- ④ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋をご使用ください。



# 取り付けかた

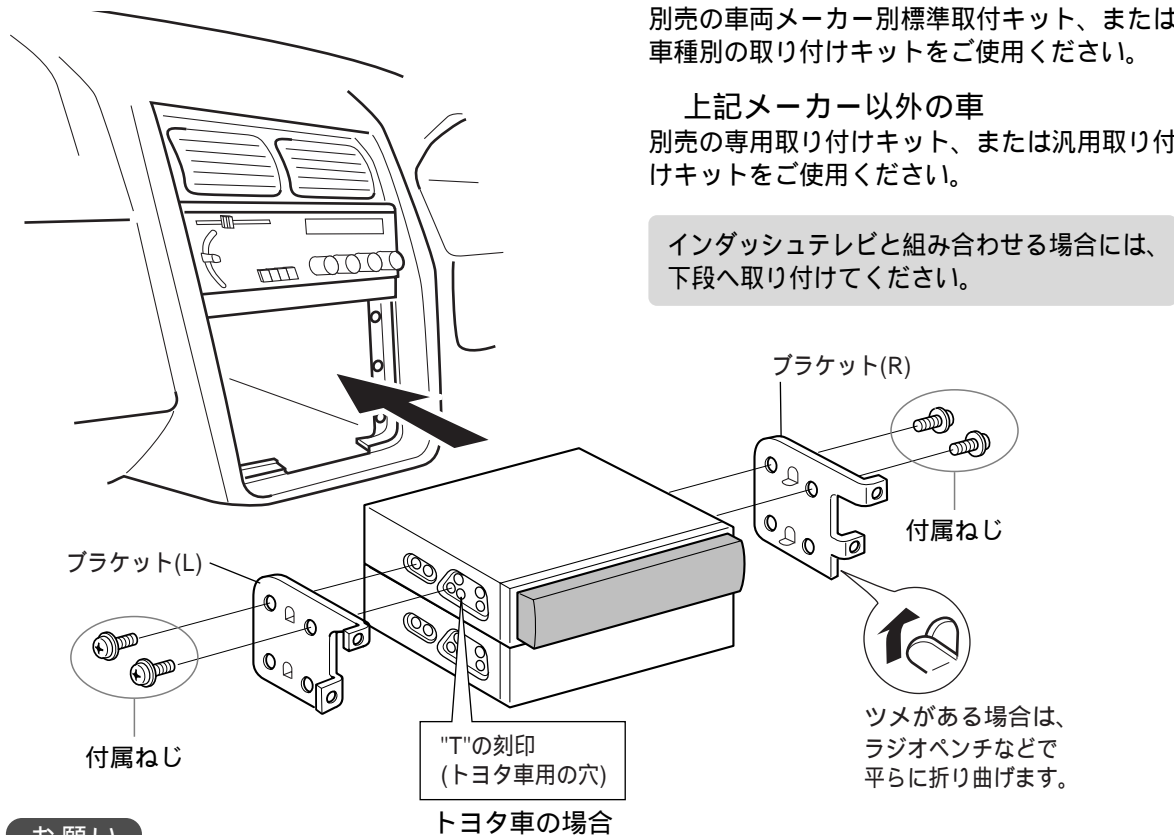
使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

トヨタ車(DINサイズ採用車)  
純正のカーステレオを固定していたブラケット  
をご使用ください。

日産・本田・三菱車(DINサイズ採用車)  
別売の車両メーカー別標準取付キット、または  
車種別の取り付けキットをご使用ください。

上記メーカー以外の車  
別売の専用取り付けキット、または汎用取付  
けキットをご使用ください。

インダッシュテレビと組み合わせる場合には、  
下段へ取り付けてください。

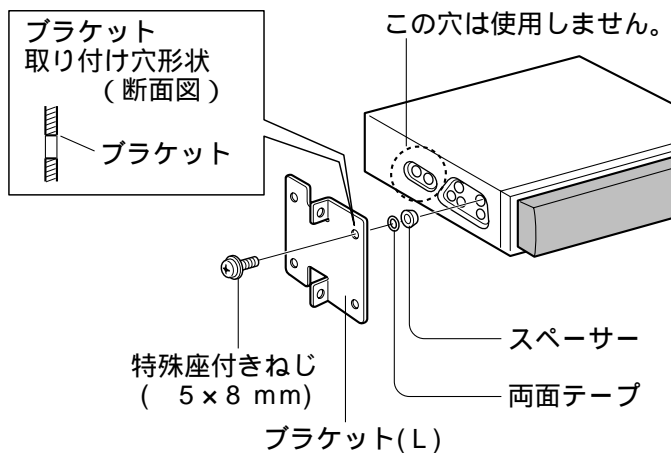
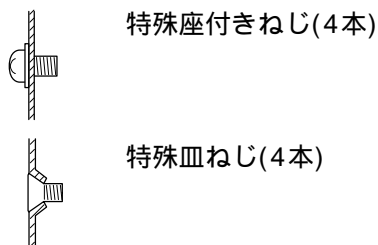


## お願い

必ず付属ねじをご使用ください。

付属ねじは、取り付け金具(ブラケット)  
の穴形状に合わせて選んでください。

ブラケットが不安定な場合には  
スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。



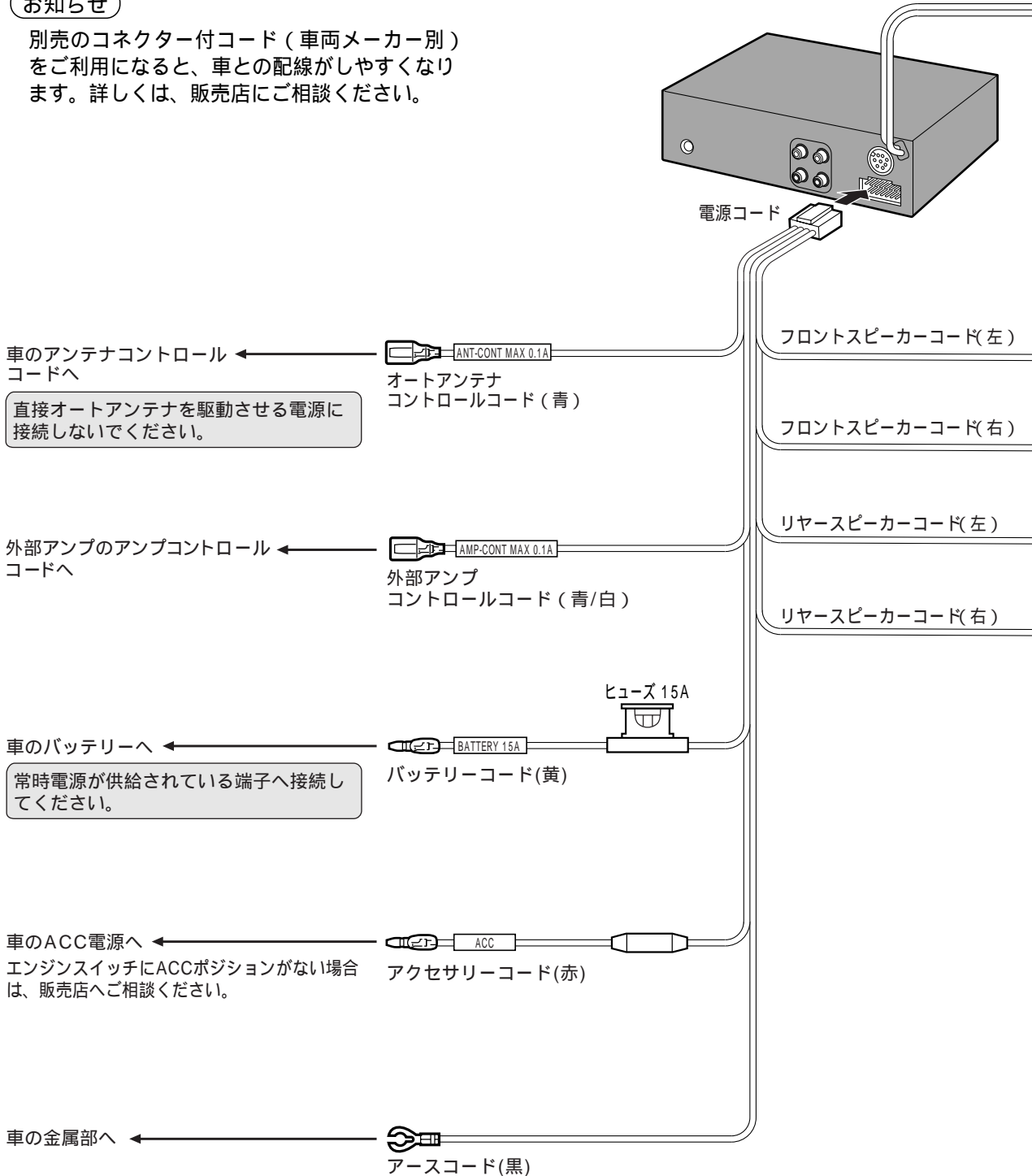
必要なきに

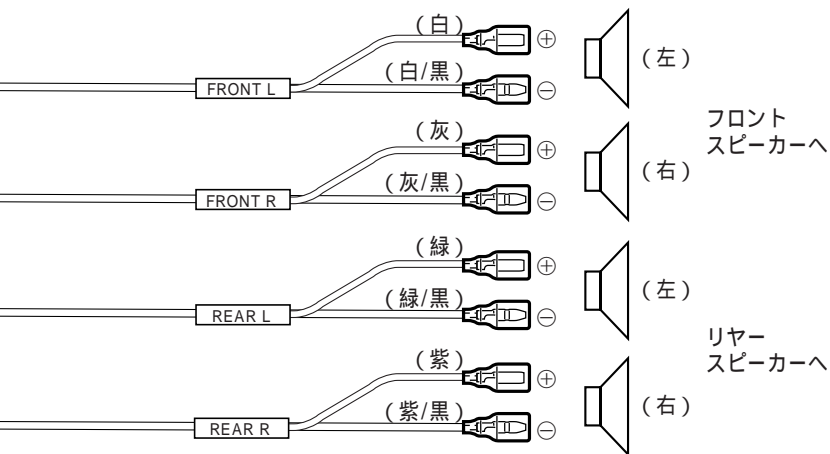
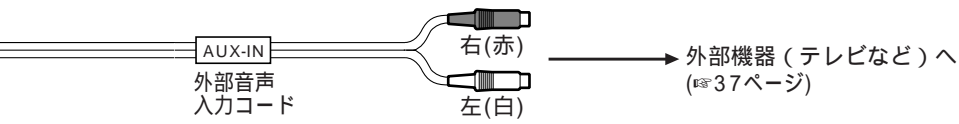
# 配線のしかた

## 基本配線（付属コードの接続）

### お知らせ

別売のコネクター付コード（車両メーカー別）をご利用になると、車との配線がしやすくなります。詳しくは、販売店にご相談ください。



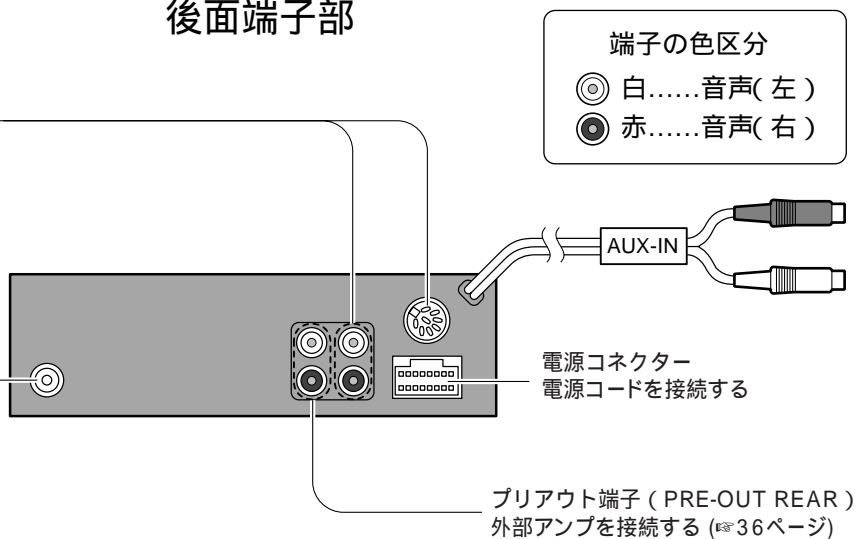


2スピーカーの場合は  
使用しないスピーカーコードが車の金属  
部に接触しないように、ビニールテープ  
等で絶縁してください。

## 後面端子部

チェンジャー接続用端子  
(CD・C-IN)  
チェンジャーを接続する  
(※36ページ)

ラジオアンテナ用端子  
ラジオアンテナを接続する



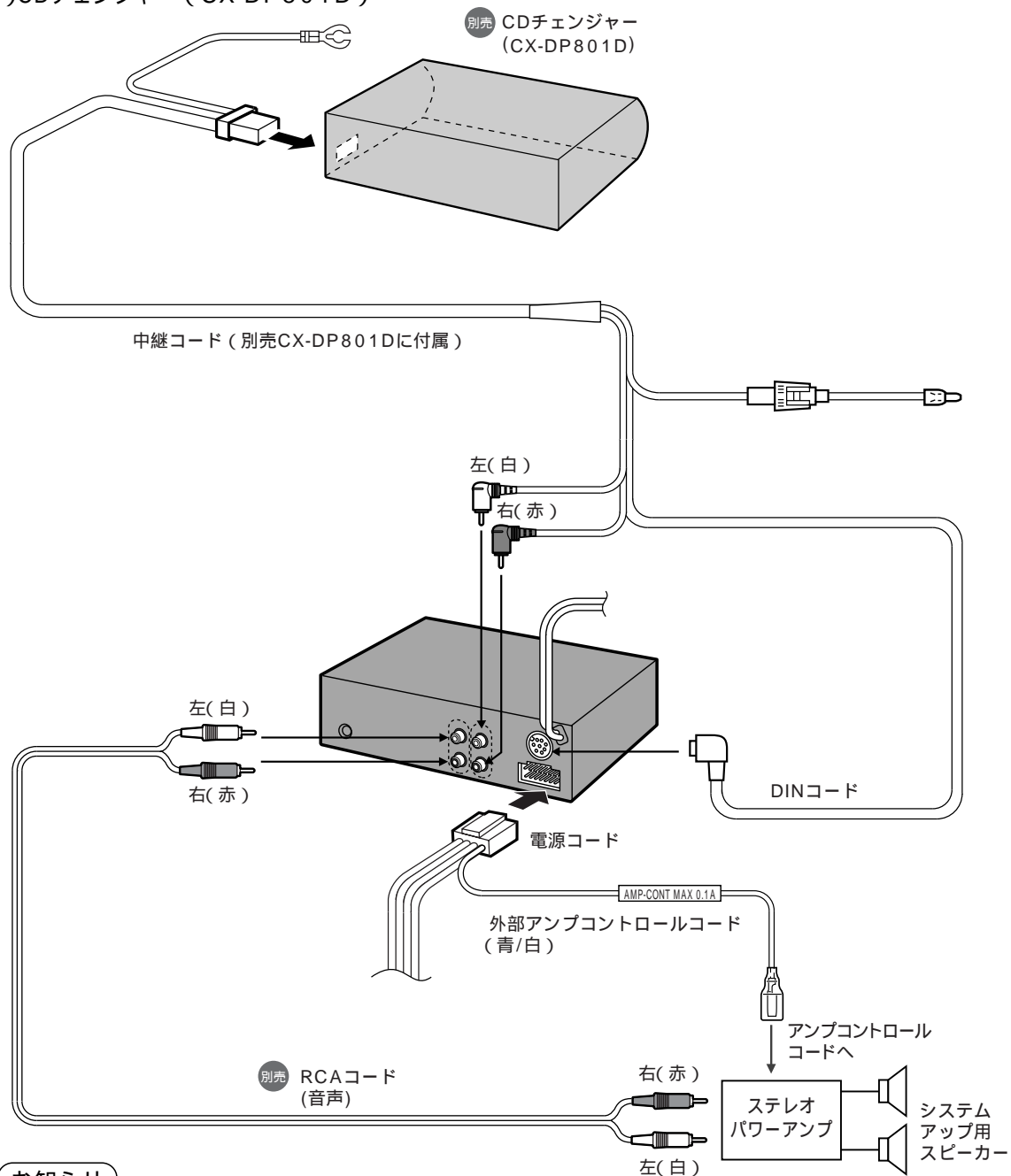
必要なときに

# 配線のしかた

## チェンジャー、外部アンプを接続する

接続する各機器の説明書も、併せてご覧ください。

例)CDチェンジャー (CX-DP801D)



### お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の機種です。(2001年10月現在)

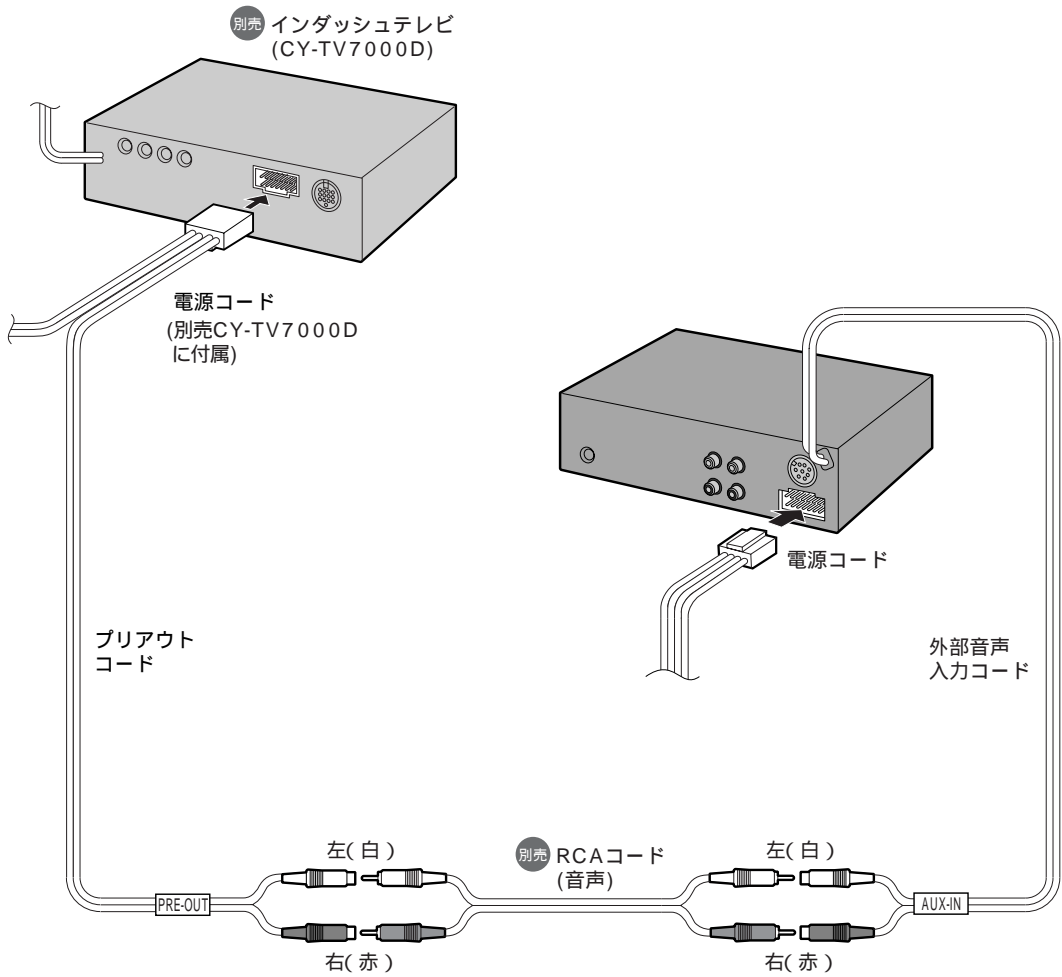
CDチェンジャー : CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205

MDチェンジャー : CX-MD6D

## インダッシュテレビを接続する

接続する各機器の説明書も、併せてご覧ください。

例)インダッシュテレビ(CY-TV7000D)



必要なときに

# 仕様

## 共通部

電源電圧	: DC12 V (11 V-16 V) ⊖アース (試験電圧14.4 V)
消費電流	: 2.2 A (CD動作定格出力時)
定格出力	: 17 W × 4 CH (1 kHz, 1 %, 4 )
最大出力	: 45 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4
音声入力インピーダンス	: 10 k (AUX IN)
音声入力感度	: 2 Vrms (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 2 Vrms (CD)
プリアウト出力インピーダンス	: 200
外形寸法 / 質量	: 幅178 × 高さ50 × 奥行き150 (mm) / 1.5 kg

## FMチューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (S/N 30 dB)	: 12 dBf
S/N比 (MONO)	: 60 dB
ステレオ分離度	: 35 dB
実効選択度 (±400 kHz)	: 90 dB

## AMチューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	: 28 dB/μV
イメージ妨害比	: 45 dB

## CDプレーヤー部

チャンネル数	: 2チャンネル
複号化	: 16ビット直線
周波数特性	: 20 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比	: 96 dB (IHF, A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下
MP3デコーダー	: MPEG 1 Audio Layer-3 / MPEG 2 Audio Layer-3
ビットレート	MPEG 1 : 32 kbps ~ 256 kbps、VBR MPEG 2 : 16 kbps ~ 160 kbps、VBR
サンプリング周波数	MPEG 1 : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz MPEG 2 : 22.05 kHz、24 kHz

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

# アフターサービスについて

## 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

## 修理を依頼される時

「故障かな!?」の項目に従ってご確認ください。直らないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

## 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

## 補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

修理・お取り扱いなどのご相談は...  
お買い上げの販売店 または  
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...  
「お客様相談室」へ

## お客様相談室

電話 フリーダイヤル  コーパソニック **0120-50-8729**

FAX **045-939-1939**

受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

便利メモ（おぼえとして、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年 月 日	品番	CQ-DPX171D
販売店名	☎ ( )	-	
お客様 ご相談窓口	☎ ( )	-	

松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 カーシステムビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283793 D1001-0